

令和8年度 第1回 遠藤地区学校運営協議会 会議録

開催日時 2026年 5月 26日（火）10時～

場 所 遠藤市民センター

出席委員	<p>福田 まり 秋葉台中学校 校長          宮田 昌明 秋葉台小学校 校長          外崎 瑞穂 秋葉台中学校 教頭          小山内明子 秋葉台小学校 教頭          鳥生 文子 遠藤市民センター長          渡辺 節 遠藤地区学校運営協議会会 長          青木 浩一 遠藤地区青少年育成協力会 会長          戸倉 有希子 湘南たんぼぼ保育園 主任保育士          駒松 佳恵 秋葉台小学校 前学校評議員          重黒木 雅子 藤沢市社会福祉協議会地域福祉課 CSW          堀田 順子 六会地区民生委員児童委員          伊澤 清美 遠藤地区主任児童委員          渡真利 康子 御所見地区主任児童委員          村瀬 道雄 藤沢市スポーツ推進委員          島村 香織 秋葉台中学校保護者代表</p> <p style="text-align: right;">以上15名出席</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委嘱状等の交付</li> <li>3 会長ならびに副会長、コーディネーターの紹介</li> <li>4 自己紹介</li> <li>5 議 題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和8年度 秋葉台小学校 学校概要について 秋葉台小学校 学校運営方針について</li> <li>(2) 令和8年度 秋葉台中学校 学校概要について 秋葉台中学校 学校運営方針について</li> <li>(3) 第2回目以降の進め方について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>6 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の会議日程（予定）</li> </ul> </li> <li>7 閉 会</li> </ol>
協議内容	<p>(1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先週、八ヶ岳体験教室を実施した。とても暑く、真夏の気温だった。雨予報だったが星空も見るのができてラッキーだった。</li> <li>・4月の交通安全教室とは、どんなことをやるのか。自転車の利用について気になっていて、危ないと思う。事故が起こってからだと遅い。本来は子どもたちに家庭で教えることだと思うが、学校でも指導してくれるとありがたい。下校時に子どもが舗道に寝ころがって、広がって歩いたりしている。——交通安全教室は、1年生を対象にしている。横断歩道の渡り方等を指導するが、自転車の乗り</li> </ul>

方等の指導はない。小学校は以前から継続して子どもたちに指導している。近隣からの苦情もあるので、交通ルールやマナーについて指導は続けていきたい。

以前は警察の方に講習をしていただいていた。それをやったほうが良いということであれば、地域で企画するのはどうか。学校には負担をかけられない。

小学校PTAは本部しかないので、ボランティアを募集してみてもどうか。給食の試食会もボランティアを募って運営をやっていた。

指導の前に親が交通ルールの知識を把握するべきだと思う。自治会で回覧をしている。子どもの指導は根本からやっていくのが良いと思う。

・学校で先生方も頑張っていると思うが、見守り等のお手伝い如果能ければ。

(2) について

・クラスは何人編成か。——1年生は35人学級なので、1クラスあたり30人程度。2,3年生は40人学級なので、1クラスあたり38人程度です。

・講演会等の最後に、挨拶してくれる人を募ると、たくさん手が挙がると聞いた。以前は手を挙げる生徒が出なかった。研究発表で、自己肯定感を育成するというテーマだった。最初のアンケートで60%くらいから80%に自己肯定感のある子が増えた。学校生活の中でも実感しているので、大事にしていきたいし、学習や様々な活動につなげていきたい。行事でも、役割の立候補者が多くて、選抜するのが大変なときもある。例えば、合唱の指揮者伴奏者、有志合唱等。ボランティアにも積極的に手が挙がる。言い続けることは大事だと思う。スローガンの「未来は自分でデザインする」も心に残っている子がいたと聞いた。未来は勝手に来ると思っていたが、自分で作るものだと考え直したということだった。理想や夢をもってほしいし、いい刺激をしていきたい。

・他に何か取り組んだことはあるか。——認める、ほめること。子どもは承認欲求がある。ボランティアしてくれたことに対して、助かったよ。ありがとうと声をかける。子どもがやっていることを言葉で表現して認めると、やる気につながるようだ。

・体育祭での審判でも、1位でゴールしたけど、ルール違反で順位が下がったこともあったが、先生たちがすかさず生徒に話をして気持ちを切り替えさせ、励ました。子どもの小さな変化に気づいて対応してくれた。

・日頃の小さな声掛けを大事にしているから、子どもたちは先生の言うことに納得している。

・今年度、不登校は減っているか。——教室に戻ることができた子がいるのがよかった。先生方の努力もある。採点に関してもやる気になるように工夫してくれる。

・地域との関係は、中学校になると薄れていく。お祭りで吹奏楽部や家庭部は参加してくれるが、出番が終わってもボランティアで残ってくれるとありがたい。楽器の搬入や搬出があるので調整が必要になる。地域のイベントにも参加できるとありがたい。

(3) について

次回は小学校で開催、その次は中学校というように交代で回す。議題についても相談していく。

次回開催日程 2026年 7月2日(木) 10時～

場所 秋葉台小学校 図書館